



Itoigawa UNESCO Global Geopark 糸魚川ユネスコ世界ジオパーク



糸魚川のヒスイは、5億年以上前に形成されたもので、「世界最古級のヒスイ」といわれています。



フォッサマグナパークでは、糸魚川-静岡構造線の断層露頭や日本最大級の枕状溶岩が見学でき、フォッサマグナの生い立ちについて学ぶことができます。

糸魚川ってどんなところ？

新潟県の西端にあり、富山県、長野県と境を接しています。「ヒスイ」「日本列島の東西境界」というから2つのキーワードから糸魚川ジオパークがどんなところなのか見ていきましょう！

キーワード① ヒスイ

地球の表面を覆う巨大なプレートの沈み込み帯にしかないヒスイ。国内には、いくつかのヒスイ産地がありますが、糸魚川は透明度が高い良質なヒスイが多く、国内随一の質と量を誇ります。

キーワード② 日本列島の東西境界

フォッサマグナは、約2,000万年前に日本列島がアジア大陸から離れるときにできた大地の裂け目です。このフォッサマグナの西端を通る「糸魚川-静岡構造線」を境に地質や文化が違ってくることから、糸魚川は「東西日本が出会うまち」と呼ばれています。

「糸魚川って遠いし関係ないや」…と思った島根県民の皆さん、ちょっと待って！

出雲大社に祀られている大国主命は、はるか高志国（北陸地方周辺）の奴奈川姫に求婚し結ばれました。そして、二人の間に生まれたのが、諏訪大社に祀られている建御名方命です。諏訪大社を総本社とする諏訪神社は全国に約25,000社もあるといわれています。このような縁から、島根県出雲市・新潟県糸魚川市・長野県諏訪市では「神話の縁結び かみがたりネットワーク」を設立し、交流人口の拡大を目指しています。



神話の縁結び
かみがたりネットワーク

真柏ってどんな木？

ヒノキ科イブキの仲間で、正式名は「深山柏槇」といいます。日本の高い山々に適応した変種です。真柏の漢字を見ると、カシワ（柏）の仲間だと思われがちですが、実はヒノキ（桧）に分類されます。

「盆栽の王」糸魚川真柏

糸魚川では、糸魚川-静岡構造線に沿うようにゴツゴツした岩でできた山々が連なっています。険しい岩山の過酷な環境に自生する糸魚川真柏は、ほかの地域の真柏とは一味違います。優れた葉性や年代を経た風格等から「盆栽の王」とも呼ばれています。



【糸魚川ジオパークの地域づくり】
糸魚川真柏プロジェクト



プロジェクトの柱

① 地域を元気に

海外にも知られる「糸魚川真柏」ブランドを生かし、ツアー実施等により、その魅力を広く発信します。観光客が増えることにより、盆栽関係者や地域経済の活性化につながります。

② 次世代につなぐ

糸魚川真柏への興味や関心を高めてファンを増やし、盆栽関係者の技術や知識を受け継ぐ人材を育成します。また、市外への銘木の流失を防ぎます。

③ 500年後も楽しめるように

原産地の真柏は、絶滅に近い状況になっています。真柏の植樹イベントを開催し、かつての姿を取り戻し、森林資源の大切さを学べるようにします。